NIE実践報告

1．タイトル：**NIEの学習って、楽しいな、もっとやりたいな**

2．学校名

埼玉県越谷市立宮本小学校

3．実践者名（代表者名）

中山正則

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語・社会・総合・特別活動　120人

6．単元（本時の学習課題）名

材料の選び方を考えよう　読む・書く　　――アップとルーズで伝える、四年三組から発信します――

7．目標(狙い)

対比やまとめなど、段落相互の関係に気をつけることで、内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かす。新聞社の方から情報の取材、吟味、発信を知り、効果的に伝える方法について、関心を持たせる。

8．評価の視点

・事象を対比したり、段落相互の関係に気をつけて、内容を読み取ることができる。
・発信に必要な情報の取材方法、吟味、発信について、新聞記事をもとに、自分の工夫を入れて伝えられる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「材料の選び方を考えよう」［国語：17時間］、「社会科見学（事前を含む）」［社会：5時間、総合：2時間］、特別活動（学校行事2時間、学級活動2時間）。本時（3時間）は国語1時間・総合2時間で実施。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・社会科見学「古き街「川越」、新しき街「さいたま新都心」を訪ねて（5時間）
・国語「材料の選び方を考えよう」（17時間）
・1学期の「新聞記者になろう」の学習を振り返る（2時間）
・「アップとルーズで伝える」を読み、アップとルーズの特徴を読み取る（5時間）
・社会科見学の新聞を作り、発信する（8時間）
・単元の学習を振り返る（2時間）
・総合「新聞記事をもとに、自分の考えを発信しよう（2時間）※新聞社のNIE企画デザイナーによる授業
・NIE企画デザイナーによる6紙の記事の読み比べ、新聞の写真が語るもの、ニュースキャスター発表
・特別活動「ニュースキャスター形式で、お互いの良さを伝え合おう」（1時間）
※社会科見学で見つけたことをもとに、新聞作りを行い、その途中でNIE企画アドバイザーの指導を受け、よりよいものにした上で、地域や保護者への学校公開授業で、ニュースキャスター形式で、自作の新聞を発表。その後、参観者からの評価をいただき、学校・家庭・地域一体の授業となった。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・新聞作りをしているうちに、「書く力」が付きました。
・今まで新聞は、大人のものと思っていたが、「子どもでも読めるんだなあ。」と思いました。
・スクラップ帳のお気に入りの記事をニュースキャスターになって発表し合うのが楽しかった。

12．成果と課題

・NIEを通じて、「社会の変化に対する目」を育てることができた。体験や取材をもとに、新聞作りすることを通して、思考力、判断力、表現力を育てることができた。読み手を意識させることにより、伝え合うことを意識した文章が書けるようになった。
・記事を読みこなすために、辞書を進んで活用するようになった。今、求められているPISA型読解力も向上した。限られた文字数で表現していく力や、見出しの工夫など瞬時に伝える工夫をする力が育ってきた。
・学校だけでなく、家でも新聞を読むようになり、家族で新聞に関心を持つようになってきている。